

「ピンクシャツデー」って何の日？ “Bullying Stops Here !”

4月14日朝、通勤途中に珍しい光景を見た。ピンクの服、ピンクの旗を持って大きな声を上げて道を歩いている小学生くらいの子供たちのグループ、数人の大人たち。大人のデモ行進はよく見るが子供・・・？



調べてみるとこの日はピンクシャツデーといって「いじめ反対デー」。そうだ、思い出した！例年は2月に行われるのだが、今年にはオリンピックが開催されたため4月に実施された。学校や職場、市長までがピンクの服などを着る。

このピンクをシンボルとするキャンペーンの背景には、2人の勇気ある高校生の行動がある。2007年ノバスコシア州の高校で、ある男子学生がピンクのポロシャツを着たというだけでいじめの被害にあい、それを知ったクラスメートの男子学生2人が、放課後、近くのディスカウントストアでピンクのTシャツやタンクトップなど50着を買い、その夜、学校のクラスメートにこのTシャツを着てくれるようにとEメールでメッセージを届け、翌朝学校で服を配布した。2人が連絡をしなかった生徒にまでメッセージは届けられ、ピンクを着た生徒が廊下にあふれ、学校全体がピンク色に染まった。それ以来、いじめを聞くことはなくなったという。

世界の子供たちの間ではびこる「いじめ」。この男子学生2人のような子供たちが世界中に広がってくれることを願いたい。

バンクーバーに日本食ブーム？！

今回、私もトロント校の河野に習い、「食」に関する情報を紹介しよう。最近では新しい日本食のお店の探索に、アフターファイブが忙しい。

ご存知の人も多いかと思うが、まずカナダ人にも大人気のジャパドッグ(日本風のホットドッグを売るホットドッグスタンド)。ジャパドッグスタンドには、訪れた有名ハリウッド俳優たちの写真も貼られている。いつも長蛇の列でたくさんの人が並んでいて、オリンピックの時は列を成す人の他にも、たくさんの観光客が物珍しそうに写真を撮っていた。SECのカナダ人の同僚も食べたことがあり、「ホットドッグで\$7なんて有り得ない！でもこの美味しさも有り得ない！」と絶賛していた。



つい先日、図書館の近くを歩いていたら新しい日本食のお店が立ち並ぶ一角を発見！「ジャパントウンができたのか？！」と驚いた。新しく店舗としてオープンしたジャパドッグ、ピアドバ(シュークリーム)、串焼き店、牛丼屋。特に牛丼屋はオレンジの看板、日本の至る所で見た事のある牛丼屋・・・いや、よく見ると店名が違う！オーナーが韓国人という全く別の店だった。(シェフは日本人との話)



そして特にここ1年、注目を浴びているのがラーメン屋だ。次々と新しいラーメン屋ができ、食べ歩きをしてどのラーメン屋が一番美味しいか、評価は人によりそれぞれ違う。カナダ人の客も少なくないのだが、お国が違えばマナーや麺類の食べ方が違う。日本人はズルズルとすすって食べるところを、カナダ人は麺を一口ずつ箸で口に運ぶ。私もカナダ流の食べ方に慣れてしま

った。というのも私がケベックに住んでいた頃に日本人流にうどんを食べた時のこと、日本人のことをほとんど知らない周りのケベック人はズルズルという音に驚き、振り返って目を丸くして私を見た！・・・それ以来私はカナダ流の食べ方に慣れてしまったのだ。ラーメン職人にしたらきつと歯がゆい食べ方だろう。

これからもバンクーバーにどんな日本食のお店が更に進出してくるのか楽しみだ。

→
どのラーメン屋にも
行列ができています



【体験談】「カスタマーサービスプロトコル」を受講した
ハシモト カズヤさん

私は、英語の勉強をするとともに、趣味であるスノーボードに行くための資金を働いて作ろうと思ったので、ワーキングホリデービザを利用しました。初めは基本的な文法や日常会話を学ぶためにESLのクラスを受講していましたが、英語の環境にも少しずつ慣れてきたため、どうせカナダで働くなら英語環境で働きたいと考えるようになりました。しかし、いざカナダで仕事を探そうとしても何から手をつければ良いか分からないことばかりでした。そこで、レジュメの書き方・面接での聞き方・話し方・カナダの職場習慣や接客方法などを学べる、カスタマーサービスプロトコル(以下CSP)を受講しました。

CSPでは先生が一方向的に教える授業ではなく、クラスメイトと面接や接客のロールプレイングを行いながら進めてきます。注意点や改善点、自分に何が足りないのかをそこで学ぶことができます。また、レジュメの書き方も日本の履歴書とは全く異なります。レジュメの作成では、自分はどういう経験をj持っているかを英語で書き出し、先生に何度も添削してもらいながら完成させていきます。その際、日本人の不得意とする、自分の経験やスキルを強くアピールしなければなりません。初めはみんなうまく書けませんでした。先生からのアドバイスをもとに自分では発見できなかった自分の長所やスキル、パーソナリティーを見出すことができました。さらに、職種に合わせたレジュメの内容変更もサポートしていただけます。最終的には自分でも驚くほど素晴らしいレジュメを作ることが出来ました。

また、働く際に最も気になる賃金についても学ぶことが出来ます。たとえば、BC州の最低賃金や賃金の計算方法、フルタイムとパートタイムの違いなど。最も印象的だったのが、祝日の賃金システムでした。祝日に労働すると、日本とは驚くほど異なる賃金計算で給与が貰えます。びっくりしますよ、本当に！！クラスみんなが衝撃を受けていました。カナダで働く際には、このことはしっかり勉強することをお勧めします。

仕事探しにおいて一番不安なのが、英語での面接だと思えます。面接もレジュメと同じように、自分を全面に出してアピールしなければなりません。作成したレジュメに関連するように、面接での話し方を教わり、自分の言葉で自分自身を説明できるようになります。個性を十分に生かせるように、先生もさまざまな観点から工夫を凝らして自分の強みを英語で説明できるように何度も練習させてくれます。最終的には本番さながらの面接を行い、1ヶ月間の練習の成果を試します。その面接はさすが緊張しますが、1ヶ月の自分の成長を感じるとともに、さらに良くするためのアドバイスを貰うことができ、面接への心構えができました。

CSPを受講して、今まで教えられてきた日本の接客サービス精神や無意識にしていたことが、カナダの習慣に当てはまらないということが多くありました。授業を受けて新しいことを学ぶだけでなく、授業を受けているいろいろな事に気づかされることも多いです。

CSPは、私を一回りも二回りも大きく成長させてくれたコースでした。授業はできる限り休まず受けてください。聞き逃すと本当にもったいない授業ばかりです。

